

LIQJ

海外派遣

企業向け
英語特訓課程

1973年
講座御案内

LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN

主催・財団法人エム・アール・エイ・ハウス





昭和48年度「L I O J」企業向英語特訓課程の御案内を申し上げます。

「L I O J」は昭和43年開講以来、全寮制による集中教育方式（外人講師と生活を共にし、期間中日本語を一切使わないというやり方）が、予期以上の御好評を得て、現在まで約2300名にのぼる受講生の大部分が海外の大学、勤務先などで、その成果を生かして活躍しておられます。

企業向特訓課程は、海外勤務、出張、国際会議出席などを予定された方々が、海外でのお仕事や、日常生活に必要なヒアリングと表現能力をできるだけ短期間に習得されるよう、南カリフォルニア大学教育学部の支援、協力を得て、特別に企画したプログラムです。

昭和47年度は第9回までに120名と、定員を

はるかに越える受講者があり、校長以下、スタッフ一同、全力をあげて教育の効果を高めるため努力して参りました。

今後の講座に対しましても、更に多くの銀行会社から受講御希望を承っておりますので、昭和48年度は内容を一層充実して御期待にこたえたいと存じております。

日本をとりまく国際情勢も、日を追って複雑となって参ります今日、正確かつ高度な対話をすすめることのできる人材がますます必要とされることと存じます。今後ともひろくこの企画を御利用いただけるよう希望いたします。

財団法人 M R Aハウス
代表理事 渋 沢 雅 英



LIOJ
LANGUAGE
INSTITUTE
OF
JAPAN

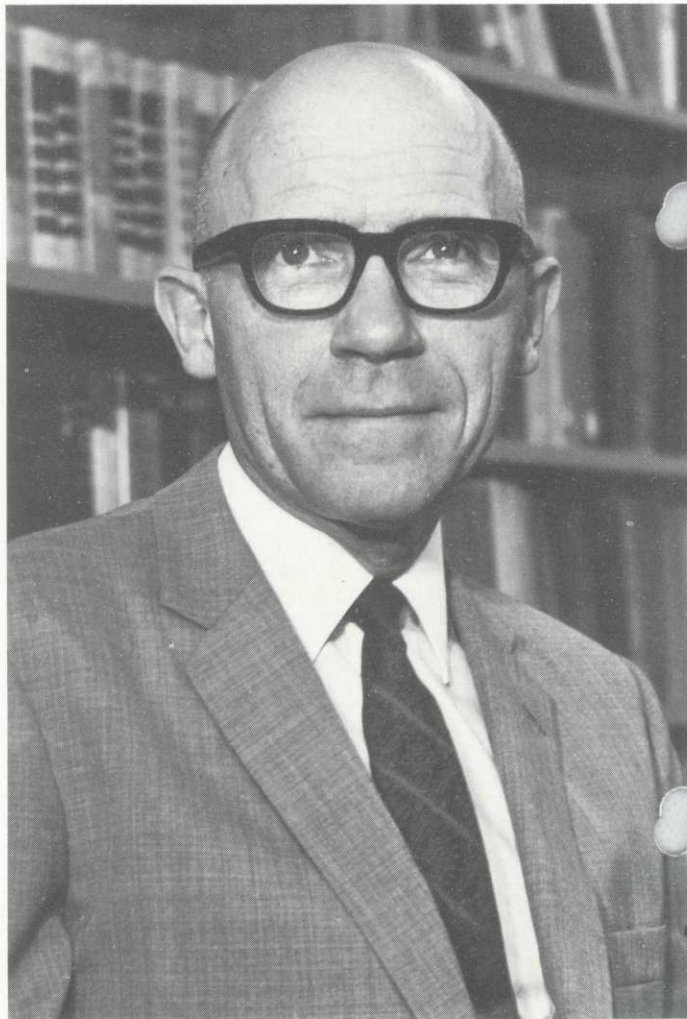
Today in economics, politics and cultural development Japan is one of the world's leading nations. Yet, because of the lack of adequate language ability, many Japanese are limited in what they can do.

We are learning today that mastery of a language requires familiarity not only with sentence structure and vocabulary but also with the patterns of thinking and feeling of those who speak the language. Knowledge of Western manners and culture as they affect everyday life is perhaps as important for effective communication as traditional language proficiency. Without this, misunderstanding is all too frequent.

Here at LIOJ, where our teachers and students live and work together twenty-four hours a day using "English only," we undertake to give all these needed skills.

Rowland Harker

校長 ローランド・ハーカー



校長 略歴

1913年米国アリゾナ州で生まれ、レッドランズ大学、南カリフォルニア大学、エール大学、英国のオックスフォード大学など英米の名門校で哲学を専攻。昭和14年来日以来、戦前の第一高等学校、戦後青山学院・学習院大学で教鞭をとり、その間常陸宮（義宮）殿下に英語特別教授を進講した。

LIOJ

STAFF FOR
1973



Miss Toneko Kimura
LIOJ
Director of Studies



Mr. Thomas G. Abrams
Sonoma State College
Rohnert Park, California
BA - English



Mr. Colin Archibald
University of California
Berkeley, California
MA - History
On leave from Modesto
Junior College
Modesto, California



Mr. Philip Como
Occidental College
Los Angeles, California
BA - Diplomacy &
World Affairs
Teaching Credential



Mr. Paul S. Farley
Stanford University
Palo Alto, California
MS - Electrical Engineering
U.S. Peace Corps



Mrs. Georgia L. Farley
University of Arizona
Tucson, Arizona
BA - Secondary Education



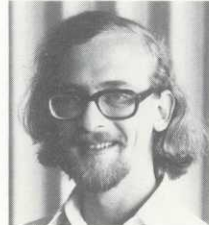
Miss Ann Frentzen
Macalester College
St. Paul, Minnesota
BA-History



Miss Marsha Hara
University of Washington
Seattle, Washington
BA-English



Miss Tara L. Holmes
University of Alberta
Edmonton, Alberta, Canada
BA - Social Sciences
Professional Diploma in
Education



Mr. Michael Joy
Pacific School of Religion
Berkeley, California
MA



Miss Gwen Thurston
University of Redlands
Redlands, California
BA - Psychology &
Japanese Studies



Mr. Eric C. Williams
University of Victoria
Victoria, B. C., Canada
BA - Geography



Mrs. Rowland Harker
Student Advisor



Mr. Hugh Wilkinson
Advisor and Teacher
(Aoyama Gakuin University)

Executive Director
MRA Foundation
Advisor Lecturer
General-Secretary

Mr. Masahide Shibusawa
Mr. Sen Nishiyama
Mr. Tatsuhiko Sugiyama

LIOJ
LANGUAGE
INSTITUTE
OF
JAPAN



LIOJ の正面



玄関および受付



箱根ルーム



ベッドルーム

場所および施設

アジアセンターは国際会議場として建てられた地下2階、地上5階の建物で200名の宿泊設備に加えて、会議室、映写設備、図書室、ロビー、冷暖房の施設も完備しております。

小田原市郊外の高台（小田原駅から車で5分）にあり、箱根山を背にし、相模湾に面し、伊豆、大島、房総半島などを一望におさめる景勝の地にあります。なるべく海外生活のふんいきの中で受講していただくため、宿泊は全て、洋室（2人部屋）バス、トイレ付、食事、レクリエーション、スポーツなど原則として外人講師といっしょに過していただきます。L.L. システム（ソニー）は授業の他、自由時間の自習にも随時利用できます。

本課程受講者のための特別ラウンジ、ウィデオテープ、音声多重装置のテレビも用意いたします。



アジアセンターからの展望

課程の内容

日本人がもっとも不得意とするヒアリング・スピーキングの能力の飛躍的向上を目標のひとつとして次のような内容のプログラムを準備しました。

- 基本文型（PATTERN SENTENCES）を主体とする表現力の基礎訓練
- L.L.等を活用したヒアリングの集中訓練（時事ニュース、スピーチ講演、商品説明などなるべく広汎な内容をもった英語の聴解力を訓練します）
- 自己紹介、会社の業務内容や事業計画の説明、テーブルスピーチ、電話の対応などの演習
- 海外での旅行や生活に必要な実務やマナーの実習および社交上の常識についての講義（英語）
- ビジネスレター、電文をふくむ英作文の練習
- 海外事情、時事問題などのディスカッション
- 英文タイプ（選択）

受講資格

高校卒業程度以上の英語力のある方。

期 間

- 各会社からの御要望にこたえて1973年は年間を通じて次の11回のコースを計画いたしました。
- 1回のコースは4週間（26泊27日）となっております。
- お仕事の都合などで期日や期間の一部変更を御希望の場合は事前にお申出いただければ、できるだけ考慮いたします。



第 1 回

1月8日(月)



2月3日(土)

第 2 回

2月5日(月)



3月3日(土)

第 3 回

3月5日(月)



3月31日(土)

第 4 回

4月9日(月)



5月5日(土)

第 5 回

5月7日(月)



6月2日(土)

第 6 回

6月4日(月)



6月30日(土)

第 7 回

7月9日(月)



8月4日(土)

第 8 回

8月6日(月)



9月1日(土)

第 9 回

9月24日(月)



10月20日(土)

第 10 回

10月22日(月)



11月17日(土)

第 11 回

11月19日(月)



12月15日(土)

1日のスケジュール

8:00	朝食
8:30~12:30	インストラクション5 課程
12:30	昼食
1:30~5:30	インストラクション5 課程 (ライティング、リーディング、カンパ セーション、スィチュエイション、 ランゲージラボ演習、タイピング クラス等)
5:30~6:00	自由時間
6:00	夕食
7:00~8:30	インストラクション2 課程
8:35~9:15	ランゲージラボ演習 (希望者のみ)

■土曜日の午前中は、ランゲージラボ演習、課題等の
自習

■御希望により土曜日の午後から日曜日にかけて帰宅
することも出来ます。

受講費用

宿泊費	26泊×¥2,100 (洋室2人部屋 バス、トイレ付) (暖房 給湯等完備)	54,600
受講料	240時間×¥550	132,000
教材費	(テキスト、テープetc.)	5,000
施設使用料	(L.L.ビデオテープ) (専用ラウンジetc.)	25,000
計		216,600
申込金		10,000
合計		¥226,600

お支払方法

現金は 神奈川県小田原市城山4~14~1
アジアセンター内LIOJ事務局
または 東京都港区南麻布4~9~17
エム・アール・エイ・ハウス事務局へ
お支払い下さい。

お振込は

第一勧業銀行本店→普通預金口座
(口座名、財団法人エム・アール・エイ・ハウス)
三菱銀行本店
()
三井銀行本店
()
へお振込下さい。

LIOJ
LANGUAGE
INSTITUTE
OF
JAPAN



- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 |
1. 食堂
 2. L.L. 教室
 3. LIOJ スタッフ
 4. 庭園より見たセンター
 5. 木立にかこまれたセンター
 6. 大島へ旅行
 7. VTR 授業
 8. 授業風景

卒業生のことば

Thank you very much for the past four weeks. I have been very impressed with your kind instruction and hospitality.

During four weeks I have learned very much from you not only English but also character building.

After I have arrived in South Africa, I will do my best to make good business and good cooperation.

(三菱電機株式会社 赤石 卓)



I am now in Sidney. It is a beautiful city. Thank you very much for your kind teaching. It is a pleasure for me to be able to report that my English is usable here. Now I realize the effect of your system, not to speak Japanese! Please convey my thanks to all the teachers. And say to Mrs. Harker that I appreciated the taste of her cooking very much.

(清水建設株式会社 青木保之)



LIOJ に来た当時の私の英会話のアビリティは粗末なものでした。今でも充分とはいえませんが、すくなくとも、自信をもって英語で話すことが出来るようになりました。これを、おつたえ出来ることを嬉しく思っています。(アメリカ保険会社員 齊藤啓司)

過去3年間の英語特訓課程に受講された会社名

- エアーリフト
- 旭化成
- バイエル(日本)
- 蝶理
- 大同毛織
- 大王製紙
- 大東紡績
- 大糖ファイザー
- 電通
- デトロイト・ハスキ
ンズ・アンドセルズ
- フランシスコ
修道会本部
- 富士塗油器
- 博報堂
- 汎米貿易
- 平和相互銀行
- 平河電線
- 日立プラント建設
- 日立造船
- 本州製紙
- IBM
- 石川鉄工
- 泉燃糸
- 北村バルブ商事
- 北野輸送
- キトー
- 小松製作所
- 甲陽建設
- 共栄工業
- 松本油脂製薬
- 松下電装機器
- 三菱電機
- 三菱信託銀行
- ミツミ電機
- 奈良機械製作所
- NET
- 日本アビオ
トロニックス
- 日本バルジ工業
- 日本ケッチェン
- 日本航空
- 日本リサーチ
センター
- 日本冶金
- 日通総合研究所
- 岡村製作所
- OSG販売
- ラッキー
- サンビー輸送
- 山九運輸
- 山水電気
- 三和エレクト
ロニクス
- 三和銀行
- セントラル硝子
- シェル石油
- 清水建設
- 昭和空圧機工業
- ソニー
- 住友バイウレタン
- 太陽銀行
- 東亜国内航空
- 戸田工業
- 東大無線
- 東那ベスロン
- 東京ガス
- 東京海上火災保険
- 東レ
- 東レエンチ
ニアリング
- 山種証券
- 安田信託銀行
- 養命酒造
- 油研工業

以上、69社から 242名の受講者がありそれぞれ海外の支店、工場などで御活躍中です。(ABC順)



-
- エムアールエイ・アジアセンター 神奈川県小田原市郵便局私書函37号 〒250 TEL : 0465-22-6133
 - エムアールエイ・ハウス 東京都港区南麻布4丁目9番17号 〒106 TEL : 03-445-5111
-